

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境			0.40					2.9
1 音環境		3.0	0.15	-	-			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.38	3.0	-			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		2.9	0.25	-	-			2.9
3.1 昼光利用		2.2	0.30	-	-			
1 昼光率		1.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備	階段室にトップライトを設置。	4.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-			
3.3 照度	執務空間に適切な照度を確保している。(全般照明照度700lx以上)	4.0	0.15	3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気質環境		3.5	0.25	-	-			3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	建材はすべてF☆☆☆☆とし、VOCの放散量が少ない建材を採用。	4.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.6
1 機能性		3.8	0.40	-	-			3.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.6	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	事務室を直天とする事及び横連窓により解放感を確保する。	5.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース	各事務室に付随する休憩室を計画している。	5.0	0.33	-	-			
3 内装計画	建物コンセプトが明確にあり、内装計画の事前検証を行っている。	4.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	汚れ易い床は長尺シート、外壁はフッ素樹脂焼付塗装とする。	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	共用部のPS・EPSには極カスタンディン可能な点検扉を設置する。	4.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.4	0.30	-	-			3.4
2.1 耐震・免震		3.4	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能	基礎免震(球面すべり支承)により免震性能を確保する。	5.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	空冷HPパッケージを採用。災害時は非常電源で部分運転可能。	4.2	0.20	-	-	-
	2	給排水・衛生設備	節水型器具の採用及び災害時の飲用水確保対策を行っている。	5.0	0.20	-	-	-
	3	電気設備	非常用発電機設備の設置及び浸水対策を行っている。	4.0	0.20	-	-	-
	4	機械・配管支持方法		4.0	0.20	-	-	-
	5	通信・情報設備	通信手段の多様化及び浸水対策を行っている。	3.0	0.20	-	-	-
5.0			5.0	0.20	-	-	-	
3 対応性・更新性				3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 空間のゆとり				3.4	0.30	-	-	-
1 階高のゆとり				3.0	0.60	3.0	-	-
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	4.0	-	-
執務空間は事務室がワンフロア2~3室で大部屋仕様となっている。				3.0	0.30	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-	-
3.3 設備の更新性				4.0	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性				5.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性				5.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性				5.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	-
仕上材、構造材を痛めることなく更新可能。				5.0	0.20	-	-	-
仕上材、構造材を痛めることなく更新可能。				3.0	0.20	-	-	-
仕上材、構造材を痛めることなく更新可能。				5.0	0.10	-	-	-
仕上材、構造材を痛めることなく更新可能。				3.0	0.10	-	-	-
仕上材、構造材を痛めることなく更新可能。				5.0	0.20	-	-	-
仕上材、構造材を痛めることなく更新可能。				3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.3
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制				4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化				4.0	0.50	-	-	4.0
BEIm 非住宅 0.69 住宅(専有部) -				4.0	1.00	-	-	-
集合住宅以外の評価(3a.3b)				4.0	-	-	-	-
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-	-
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制				3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-
節水型機器の採用。				3.0	0.60	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.70	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				3.5	0.60	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				4.0	0.22	-	-	-
床材塩ビシート(廊下、水回り)、天井材岩綿吸音板(女子施設、WC)				-	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				5.0	0.22	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.22	-	-	-
躯体と仕上の分別、内装材と設備の取外しが容易。				3.6	0.20	-	-	3.6
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				5.0	0.30	-	-	-
塗装と防水材に対象物質を含有しないものを選定。				3.0	0.70	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				-	-	-	-	-
1 消火剤				3.0	0.50	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮				3.9	0.33	-	-	3.9
LCCO2排出率=77%				2.9	0.33	-	-	2.9
2 地域環境への配慮				3.0	0.25	-	-	-
2.1 大気汚染防止				3.0	0.50	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.7	0.25	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-
2 振動				-	-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-	-
屋外広告照明は行わず、その他の照明機器は基準を満たす。				3.0	0.30	-	-	-
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-